

守りの沼「城沼」

館林の東部に位置し、館林城とつつじの名勝を守ってきた城沼は、周囲が約8km、面積は約50haの市民の憩いの場です。水面には、カルガモや小鳥が遊び、ゆったりとしたたすまいをみせ、桜の季節に始まりつつじに花菖蒲、蓮の花と彩りの風景が訪れる人びとを魅了します。

また、周辺には、つつじが岡公園をはじめ神社やお寺、科学館等もあり、大人から子供まで楽しめる行楽地です。



城沼の白鳥

城沼に初めて白鳥が飛来したのは平成12年10月。今ではオオハクチョウをはじめ、コハクチョウやアメリカコハクチョウなどの白鳥がひと冬羽を休めます。また、オオハクチョウが遊泳する姿を、年間通して見ることができます。



最多飛来数	確認年月日
122羽	平成29年1月27日
146羽	平成30年2月 9日
167羽	平成31年1月25日

つつじが岡公園 TEL. (0276)74-5233

江戸時代から守り伝えられた公園です。つつじ映像学習館やフードコートなど四季型公園として整備され、多くの人に親しまれています。園内からは白鳥をはじめとする様々な野鳥も観察することができます。



白鳥の種類



オオハクチョウ

大きさ 約140cm
くちばしは長めで、黄色部が大きく、黒色部との境の形状はとがっている。



コハクチョウ

大きさ 約120cm
くちばしの黄色部は小さく、黒色部との境の形状は丸い。



アメリカコハクチョウ

大きさ 約130cm
目先に小さな黄色斑があるだけで、くちばしの大部分が黒い。



コブハクチョウ

大きさ 約150cm
くちばしの大部分が橙赤色で、黒いコブがある。

白鳥の保護にご協力ください

白鳥は警戒心が強く、一度危険な目にあった場所へは近寄りません。白鳥が安心して越冬できるよう、**次のことを禁止します**ので、ご協力ください。

- ① 近づいたり触れたりすること
- ② 餌を与えること
- ③ ペットを連れての観察
- ④ フラッシュを使用するのカメラ撮影
- ⑤ その他白鳥を驚かせる行為

お問い合わせは…

館林市役所市民環境部地球環境課

〒374-8501 館林市城町1番1号

TEL. (0276)72-4111

メールアドレス kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp

HP <http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/soshiki/kankyo/>



里沼

「里沼」とは、人々が沼に近づき集う中で、暮らしと深く結びつき、沼と共生した生業や文化によって育まれた新たな概念です。また、自然と暮らしが調和した生活文化を今に伝える、貴重な財産です。

館林市の里沼

「多々良沼」、「城沼」、「茂林寺沼」は「里沼」として令和元年5月20日に日本遺産に認定されました。それぞれの沼によって磨き上げられた館林の沼辺文化を味わい、体感することができます。

実りの沼「多々良沼」

館林の北西部に位置し、沼の恵みが暮らしを支えた多々良沼は、周囲が約7km、面積が約80haの広大な沼です。

白鳥の飛来地として知られるほか、タヌキモやタタラカンガレイなどの貴重な植物や、カルガモ・カイツブリなどの水鳥やオオタカなどの野鳥を観察することができる水生植物と野鳥の宝庫です。



多々良沼の白鳥

多々良沼に初めて白鳥が飛来したのは昭和53年12月。コハクチョウを中心にオオハクチョウやアメリカコハクチョウなど近年では約200羽の白鳥が飛来します。例年11月中旬に飛来し、1月下旬から2月上旬が最も多く、3月上旬に北へ戻っていきます。



最多飛来数	確認年月日
210羽	平成29年2月18日
164羽	平成30年1月23日
200羽	平成31年2月 3日

夕陽の小径

きれいな夕陽が望める沼の北東部にある遊歩道であり、白鳥の給餌場に近いため、多くの白鳥を観察することができます。



館林白鳥観察マップ



多々良沼

■観察ポイント（時間帯により観察できない場合があります）
・夕陽の小径(多々良沼北東岸)

■給餌時間 8:00(1回目) 15:00~16:00(2回目)

■アクセス

- ・東北自動車道 館林I.C.から約9km
- ・東武伊勢崎線 多々良駅から約2km(徒歩25分)
- ・東武小泉線 成島駅から約1.6km(徒歩21分)

城沼

■観察ポイント（時間帯により観察できない場合があります）
・旧つつじが岡パークイン北側

■給餌時間 7:30~8:00

■アクセス

- ・東北自動車道 館林I.C.から約3km
- ・東武伊勢崎線 館林駅東口から約4km
(館林・板倉線バス17分「楠町西」下車)